



[産婦人科・小児科オンライン]

令和4年度 フェムテック等サポートサービス実証事業 中間報告

- 1.事業計画（事業目的と実施事項）
- 2.事業計画に基づき実施したこと
- 3.事業を実施して分かってきたことや課題
- 4.今後実施すること

事業計画（事業目的と実施事項）

confidential

小児科 オンライン

産婦人科 オンライン

新入社員向け

「女性特有の健康課題に関する eラーニングプログラム」の開発と検証

健康的に働いていく上で、知っておくべき健康情報を
スマホから気軽にどこでも学べるように



eラーニングツールの開発・提供

- 月経随伴症状、不妊治療、女性特有のがんなど幅広くカバー
- 個別の回答結果に応じて自分に必要な医療・健康情報を取得
- 複数回実施することで知識の定着と行動変容の期待を
- 男性も学ぶことで職場における相互理解の促進に

オンライン相談の自由利用

- 疑問が湧いたら、オンラインで気軽に産婦人科医へ相談可能
- 直接会話できる予約形式 & 24時間送れるメッセージ形式



目標参加者数：300名
（対照群含む）

2022年7月

2022年9月

オンライン相談の提供
（介入群のみ）

2022年
12月

2023年
1月

- ・ 参加企業募集開始
- ・ アンケート作成開始
- ・ eラーニングツール開発開始

- ・ 事前アンケート実施
- ・ eラーニング1回目実施

eラーニング
2回目実施

終了時
アンケート
実施

【eラーニングツールの開発】

- エボラニ株式会社へ開発を委託
- 女性社員用/男性社員用、LINE版/ブラウザ版を用意

【事前アンケートの作成】

- 基本属性、共通項目に加えて独自項目15～18問
- 女性社員用/男性社員用をそれぞれ用意

【参加企業の募集】

- これまで24社へ提案
- 参加決定：2社（検討中4社、非参加18社）

事業計画に基づき実施したこと

confidential

【eラーニングツールの開発】

年齢を教えてください。 13:34

20 - 24歳 >

25 - 29歳 >

30歳以上 >

既読 13:34 30歳以上

月経周期（月経の初日から次の月経開始の前日までの期間）は25～38日の間で定期的に来いますか？ 13:34

はい >

いいえ >

既読 13:34 はい

女性社員用（月経関連）
LINE版の設問画面（デモ）

男性社員用（妊娠・出産） ブラウザ版の回答画面（デモ）

妊娠・出産 解説（男性）
anybot.me

「妊娠・出産」についての回答、お疲れ様でした！

1. 妊娠初期（～妊娠13週頃）は、まだお腹は大きくなっていないため、体調不良で困ることは少なく、仕事との両立に悩むことはあまりない。

正解です！（「誤っている」）
職場でもこうした理解が広まることが大切です。

また、体調不良に対して医療機関で記載される「母性健康管理指導事項連絡カード（母健連絡カード）」を女性従業員が職場へ提出することで、勤務時間の調整など医学的に必要な措置を伝えることができます。

2. 妊娠中期（妊娠14～27週頃）は「安定期」とよく呼ばれるように、妊娠関連のトラブルはほとんど起こらず体調が安定する。

残念！正解は「誤っている」です。

いわゆる「安定期」とは、妊娠を維持するホルモンの状態が安定する、という意味であり、予想外のトラブルや心身を悩ませる症状が出てくることは少なくないのです。

中期に入ると、お腹が大きくなるため体の重心がずれやすく、腰痛や関節痛が起こりやすいです。また、無理を

【eラーニングプログラムの提供】

- 2022年11月から1社に向けて提供開始
- 現在の参加者：8名

【オンライン相談窓口の提供】

- 2022年11月から1社に向けて提供開始
- 現在の利用回数：0回

【eラーニングツールの開発】

- よくある「動画」や「スライド」ではなくテキストベースで作成
 - メリット：簡便に短時間で受講可能、個々にカスタマイズ可能
 - デメリット：「イメージと違う」と参加を辞退された企業も複数あり
- 開発会社に委託
 - 密なコミュニケーションを取ることでほぼイメージ通りに完成
 - 専門知識が必要なコンテンツ部分を社内で完結できることは強み

【参加企業の募集】

- 対象参加者を新入社員（入社3年以内）に限定した
 - メリット：収集データが整いやすい、高い介入効果が期待できる
 - デメリット：事業参加可否にとって最大のハードルとなった（一部のみ導入しにくい、他の社内研修と重なってしまう、など）
- Eラーニングツール開発と参加企業募集を並行した
 - どのようなツールか見せてほしいと言われても対応が難しかった
 - 対応が遅れると「スケジュール的に厳しい」と断られることに

【参加企業の募集を継続】

- 現在検討中の5社へ引き続きアプローチ
- 新規企業の募集をギリギリまで継続

【参加者数を目標値に近づける】

- 対象を拡大して再募集（入社3年目まで→入社5年目までに変更）

【参加者数が少なくなる上での工夫】

- 一部の参加者へデプスインタビューを依頼
- プログラム内容のより詳細な評価ができるよう調整